

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	鹿児島県、日置市	地域再生計画名	鹿児島県、日置市「交通ネットワークを有効活用した健全なまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	鹿児島県環境林務部かごしま材振興課長、日置市産業建設部建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	指標 2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	総合運動公園施設の利用者数の増	900千人	H25	920千人	H29	950千人	945千人	H31	○	市道及び林道の整備により、市街地と山間部のアクセス改善が図られた。また、国体に向けた施設整備や九州・全国大会、スポーツ合宿誘致などの取組により、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 2	日置市内物産館出荷取扱額の増	1,753百万円	H25	1,780百万円	H29	1,818百万円	1,880百万円	H31	○	市道、林道及び農道の整備や物産館のイベント開催などの効果により、市内物産館施設を訪れる人が増えており、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 3	素材（木材）生産量の向上	20千㎡	H25	20.5千㎡	H29	38.3千㎡	20.5千㎡	H31	○	林道整備やそれに通じる市道整備、木材輸出量の増加を目指した木材利用推進事業などの施策の効果により、素材（木材）生産量が増となった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	木材生産額の増	1.8億円	H25	1.9億円	H29	3.5億円	1.9億円	H31	-	林道整備による効果として未間伐地域へのアクセス改善が図られた結果、木材生産額の増となった。

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	78.5km	21.0km	38.0km	これまでの整備により総合運動公園施設及び市内物産館の利用者の増加につながったと考えている。一方、ドライバーの高齢化や観光バス等の周遊できる安心・安全な道路整備が必要であることから引き続き道路拡幅等の整備を進めたい。
	林道整備事業（整備延長）	2.0km	1.0km	2.0km	概ね計画どおり林道整備が実施された結果、森林へのアクセス向上が図られ木材生産量の増となった。しかし、計画路線の未整備区間には間伐対象森林が残っているため引き続き事業を実施し木材生産量のさらなる増加を目指したい。
その他の事業	中山間地域総合整備事業	農業と都市住民との交流を促進するため生産基盤と生活環境基盤を整備			東市来・伊集院地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置地区、日吉・吹上地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置南部地区として、事業を展開しており、事業進捗としては約40%である。ほ場整備や農道整備等の生産基盤や集落道整備等の生活環境基盤の整備が進むことにより、物産館や直売所等への流通の拡充や集落内の安全且つ快適な生活空間の向上が図られている。
	東市来都市計画事業	都市計画道路をはじめとした公共施設整備、住宅地の利用促進を図り、健全な市街地の形成を図る。			土地区画整理事業を施行することにより湯之元駅周辺のバリアフリー化と良好な都市基盤や宅地整備が進み、既存の医療施設や温泉施設へのアクセス向上が図られ、魅力あるまちづくりと温泉街のにぎわいの復活を期待される。
	日置市九州・全国大会等開催補助金制度（日置市単独事業）	総合運動公園施設等で九州・全国大会を開催する団体に運営経費の一部を助成			トップセールスや幅広い周知活動により多くの大会が開催され、スポーツ交流人口の増加につながったと考えている。さらに国体等に向けた施設の充実やアクセスの良さをアピールして、開催大会の拡大と定着化を目指している。
	日置市スポーツ合宿誘致助成制度（日置市単独事業）	日置市内体育施設を利用するため日置市内に宿泊する団体に宿泊費の一部を助成			交通至便の地の利を生かし、地域の魅力や各施設の情報を広く発信し、利用団体の増加につながったと考えている。一方、利用団体に市の物産館などを利用してもらう産業の活力など経済の相乗効果が期待される。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法	数値目標（指標）の達成状況により評価するほか、関係者に対して計画の達成状況に関するヒアリングを行った。
⑤中間評価の公表方法	鹿児島県、日置市のホームページに掲載
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道と林道の整備を一体的に実施し、地域間、総合運動公園施設、物産館周辺のアクセス向上と通行車両の安全確保や環境改善が図られつつあるところである。各数値目標においても、総合運動公園施設の利用者数、日置市内物産館の出荷取扱額、木材生産量の向上について中間目標値を上回る結果となり、事業効果の発現がみられた。また、本計画の実施状況及び波及効果について関係者にヒアリングを行ったところ、利便性の向上や安全等の改善が図られた等の一定の評価を得られた一方、今後の更なる整備を要望する意見もあった。
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、運動公園施設の利用者数、日置市内物産館出荷量、木材生産量の増加等も含め目標のほぼ達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。一方、その他の事業や市独自のソフト対策も一層強化し、目標とする「交通ネットワークを有効活用した健全な街づくり」を実現したい。